

「防災」を学ぶ土曜授業

☎ 72・3190
 危機対策課

市では令和3年度から全ての小・中学校がコミュニティ・スクール(以下、CS)となり、地域住民が学校運営に関わっています。花川南地区には花川南小学校と花川南中学校があり、合同の「花川南小・中学校運営協議会(以下、協議会)」を設置しており、今回その協議会が1日防災教室を企画し、昨年11月18日(土)に実施しました。

これまでも積極的に小・中学校間の連携教育に取り組んできた花川南地区で、防災教室は保護者や地域、行政などを巻き込む初の試み。花川南小学校の熊谷清秀校長は「防災は子どもや学校、保護者、地域が一体となって協力すべきこと。CSの取り組みとして、大変ふさわしいテーマだと思いました」と話します。

開催したのは土曜日。小学校では30人の保護者が集まり、中学校では保護者が自由に参加できるフリー参観日としました。始めに小学校の体育館で胆振東部地震の体験者が講演。その様子を中学校にもリアルタイムで中継した後は、各校それぞれで発電機の使い方を学んだり、段ボールベッド、テントの設営、新聞紙を使った防災グッズ作りなどを行いました。

※教育委員会が任命した保護者や地域住民などで構成される学校運営協議会を設置している学校で、教育活動について意見を述べることができている制度。



花川南小学校
熊谷清秀校長



花川南地区CSとして初めての取り組み

協議会が目指したのは「避難所運営に参加できる子どもを育成すること」。このビジョンのもと、花川南小・中学生が同日同時刻にそれぞれ避難所生活を支える具体的な活動を体験しました。

防災教室を見守る大人たちの中には、協議会委員長で、石狩市防災マスターの南葉俊昭さんの姿もありました。南葉さんが見つけていたのは中学3年生が挑戦した「Doはぐ」。避難所運営を机上でシミュレーションするもので、生徒たちの真剣なやりとりに「他者の意見に流されず、自分の考えを述べながら進める様子に頼もしさを感じました」と目を細めていました。



協議会委員長
石狩市防災マスター 南葉俊昭さん

終了後、花川南中学校の川端健裕校長に話を聞くと、「今回、小・中学校が同じ日の同じ時刻に学ぶことを重視しました」と振り返り、「地域の中で経験を共有する、ということが特に防災では必要だと思うからです。試行錯誤をしながらも続けていければ」と希望を述べます。

今回、(一財)石狩市防災まちづくり協会と共に協力要請を受けた市の危機対策課でも、担当の千種直也が期待を寄せていました。「災害はいつ起こるか分からないため、公助のみならず自助・共助の大切さも市民の皆さんに強く感じてもらえたら。花川南地区のように学校を中心とした取り組みが、他の地区にも広がるといいですね」



花川南中学校
川端健裕校長



段ボールベッドの設営

体育館で4台の段ボールベッドを組み立てた花川南中学校の2年生。設置後、「ベッドは丈夫で、意外に広い。その分、この体育館にどれだけ設置できるかという問題がありますよね」という感想も。この日は花川南小学校でも5年生が挑戦しました。



西淳子さん

伊藤命子さん

秋田谷順子さん

熊谷校長と協議会委員の皆さん

花川南小学校で熊谷校長と打ち合わせをしているところ。西さんは「初めての試みでどんな感じになるのか期待しています。地域の方がどんどん学校と関わる形になるといいですね」と話します。



防災備蓄品を知る

花川南小学校にある防災備蓄品保管庫の前で、市の危機対策課職員から防災備蓄品にはどんなものがあるのか説明を受ける子どもたち。

段ボールベッドの組み立てに挑戦しました。
難しかったけど、みんなで協力して
素早くできてよかったです！
講演では命の大切さについて学びました！

澤田柊さん



奈良咲花さん

小学3年生の時、
胆振東部地震があり、
お店から商品がなくなって
不安になったことを
思い出しました

テントの設営は、片付けに
意外と苦労しましたが、
組み立て自体は簡単でした

岸紅凜さん



小松巧さん



小学1年生は「防災かるた」で

防災や減災をかるたで遊びながら学んだ小学1年生たち。保護者も見守る中、先生の札を読む声に耳をすまし、元気いっぱいかるたに手を伸ばしていました。



「Doはぐ」に挑戦する中学生たち

「Doはぐ」は、静岡県が開発した避難所運営ゲーム(HUG)の北海道版で、真冬に直下型地震が発生し、電気などが使えないという想定の下、250枚のカードで示した諸条件について、グループで話し合いながら解決する防災教育カードゲーム。フリー参観日で訪れていた保護者からは「避難者には赤ちゃんや妊婦、認知症の方などいろんな人がいて、見ていて私自身も考えさせられました」との声も。



危機対策課
千種直也